

5月18日 緊急
 受信物 12.21
 誤訳了 13.40

電訓 08983



五一八 緊急 受信 112310 譯了 1340 電 08983 作訓

三南遣艦隊	聯合艦隊中	南西方面艦隊	永井
大海參謀部	二六各根	南西方面艦隊	田中
機密第一	八〇一三二	南西方面艦隊	田中

三二警備部隊戰團概報第二五號(十七日其ノ二)

戰訓所見當隊海上特攻隊中雷裝大發五隻ガ敵驅逐艦一轟沈輸送船(中

型)三擊沈ノ戰果ヲ學ゲ而モ被害輕微ナリシハ主トシテ左ノ原因ニ依

ルモノト認ム

一、基地選定適當ニシテ無線及有線通信確保セラレ出撃直前迄敵情竝ニ

偵察要領等ヲ電話(無線併用)ニテ戰機ニ投ジ詳細ニ指示シ得タル

コト

通一〇〇三三 呂一八ラ一八(一五七一〇KC)三二通 大内(監田)

二 隊員ハ萬難ヲ排シ優秀ナル現役兵ヲ選抜充當セルコト

尙基地ノ識量優秀ナリシコト

指揮官

三 基地施設適當ニシテ秘匿ニ成功セルコト

四 襲撃暗夜又ハ豪雨ニシテ敵ノ意表ニ出ヲタルコト

II

人

五
一一九八
受信二〇三三五
靜始〇〇二二〇五
靜了〇二〇〇〇
電
〇〇九二四四
五〇四
作
本

緊急

作

三二根・南西方面艦隊
大海参一部・聯合艦隊所屬艦船
二二、二三、二六各根
機密第一八一九五八番電 二分ノ二

電 109244
作概 09245
参本

23.35
00:20
02.00

18日 受信了
受訊訊

5月 8日

三二根B 戦艦概報第二六號（五月十八日）
一、夕方方面

(1) 十七日一八三〇必勝壹兩端ニ進出セル我二五耗機銃ハ第二飛行場ニテ砲撃中ノ敵艦一二ニ對シ奇襲掃射ヲ加ヘ悉チ全砲ヲ沈黙セシメ敵ヲ大混亂ニ陥レタリ

(2) 十七日第一飛行場西方ニ侵入セル敵ニ對シ猛砲撃ヲ加ヘ撃退セル所十八日一〇四〇并ビ又一個小队進出交戦中

一〇四〇三
一〇一五
白一五ヲ十八（七八五五）
三二一
尚橋（機筒）

(ハ) 敵ハ「タロモ」北方臺地ニ他多數ヲ進出セシメ同方面ヨリ突破
ヲ準備シツツアリ

(ニ) 十七日夕刻一部ノ敵「ミントル」北方ニ侵入

ニ海上方面(イ)〇八四五掃海艇一大艇ニ(滿載)「サマル」島東方ニ
向フ

(ロ) 一〇三〇驅逐艦一LOFT八名モ出港用下ダバオ灣外ニ去ル一八

五五夕口モ後橋根附輸送船二LOFT八掃海艇一ダバオ灣内驅逐

艦二掃海艇五魚雷艇二

(一) 一三一五大艇三(滿載)「ダムラツト」水道へ向フ

(ニ) 一五〇〇驅逐艦一「サンオ」カスチン」ヲ砲撃

(ホ) 一七〇〇上陸用舟艇三六「サランガニ」海峡東進中。

昭和廿年五月廿日

五一九 受信一五四二 譯了二六三〇 電〇九五三一 參作 本概

至 急 東 通 三 二 根 A

作

三 一 通

機密第一八二二〇一 譯電 二分ノ一

電 09531 概本 作參

發 據兵團長

宛 陸軍參謀次長

六七日「夕バオ」戦況

「夕バオ」河右岸地區一部戦線ヲ收縮シ主陣地帶ヲ強化昨日敵ノ

砲撃聲ハ依然熾烈ナルモ攻撃緩慢ナリ

「夕バオ」河左岸地區敵ハ魚雷艇一舟艇ヲ以テ内方ノ兵力ヲ右

岸ヨリ「ラサン」北方ニ移動ヤシメタル外約二〇〇名ノ敵「ササ」

5月 19日 信 了 受 訊 訊

5221

通一〇六九九 呂一〇三二一八(一五七一〇〇)三二二 長谷川(増田)

方面ニ蠢動ヲ開始ス

三來變敵機ハT B Dト一ヲ主トシテ一ニ至

一電信票註 本電二分ノニ未着

5月19日
444T 受訊 訊

信物了

1850
2014
21.40

電 09639
作 概
参 本

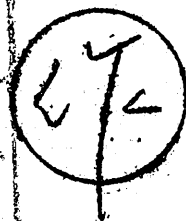
至 急

五 一 九

受信一八五〇
譯始二〇一四

譯了二一四〇
電〇九六三九

参作
本概



東 通

三 一 通

三 二 特 根

機密第一八二二〇一番電 二分ノ二

四戰闘開始以來本日迄ニ判明セル戰果主ナルモノ左ノ如シ

人員殺傷三二〇 飛行機擊墜一〇 擊破四 戰車擱坐一擊破六裝甲

車擱坐一擊破五 破壞自動貨車一牽引車ヲ含ム一八四 火砲七無線

電信機三 電波探信儀一臺 迫撃砲一 各種銃器三九 無線機三

擊沈中型輸送船三 驅逐艦一 我ガ損害 戰死三一三戰傷三七三 未歸還一七五

五尙武トハ十五日以降通信杜絶シアリ豹兵團司令部ハ「マバライ」ヨ

リ東北方山地ニ移動シアルモノノ如ク十六日以降通信杜絶シアリ

依ツテ兵團ト島外トノ通信ハ海軍ヲ通ズル本通信ニ依ル外ナシ

六右尙武ニモ傳ヘラレ度。 (電信課註 本電二分ノ一既配布)

通一〇八〇二 呂一Bラ十八 (一五七一〇K) (三二通 地取(阿 派))

昭和五年五月廿五日

5月19日 844T
 受信物了
 15.20
 16.30
 18.50
 電 概本急
 作参至

参

宛 第三南遣艦隊司令長官
 發 據兵團長
 通 報 南西方面艦隊司令長官 大本營海軍參謀部第一部長
 一 四月十八日「ゴクバ」ニ上陸セル敵ハ第二十四師團ヲ以テ「ダバ
 才」ニ突進「デゴス」附近ノ打撃ニモ拘ラズ四月三十日「ダバ才」
 平地ニ侵入主力ヲ以テ「デゴス」河右岸ノ我が陣地帯ニ對シ重點ヲ
 指向熾烈ナル砲爆撃支援ノ下ニ攻込ヲ續行中ニシテ敵ノ一部ハ十三
 日陣地ノ一角ニ侵入セルモ果敢ナル逆襲斷込ニ依リ出血ヲ強要シツ
 一〇〇六六九二
 一〇〇六六七一
 一〇〇六六七九
 呂一コラハ八八二五六一〇三三二通
 伊藤(猪狩)(一)

作

東通・聯合艦隊口
 機密第一九〇八五九番電
 三分ノ二二三

至 急
 五 一九
 受信一五二〇〇
 譯了「一八五〇」
 電電〇〇九九六六二六五
 參作概本〇

6. 昨日迄ニ判明セル戦果ノ主ナルモノ
 左ノ如シ特ニ海上ニ於ケル海軍特攻隊ノ偉勳
 ニ對シ感激ニ堪ヘズ人員殺傷3205飛行機
 撃墜

ツアリ尙敵ハ小數ノ艦船ヲ以テ逐次兵員資材ヲ増強中ナルモノ新ニ上
 陸ノ企圖ヲ認メズ

二 兵團ハ海軍ト渾然一体トナリテ敵艦滅ニ邁進中ニシテ右岸ニアル海
 軍一大隊ノ守備隊ハ敵ヲ撃滅良ク主陣地ヲ確保シアリ又一ダバオ

河左岸地區一部ノ陸軍兵力ヲ海軍指揮官ノ指揮下ニ入り空陸軍部隊
 主力ハ刻々所用地區ニ轉用敵艦滅ノ態勢ヲ確立セリ左岸地區ノ敵兵

力ハ約一大隊ニシテ又舟艇ニ依リ一部兵力ヲサシ北方ニ上陸セシ
 ヲ匪賊ト呼應シ來襲ノ兆アルモ行動未ダ活潑ナラズ

三 「デゴス」陸海軍部隊ハ「デゴス」北方ニ於テ略々同等ノ敵ト交戦
 中ナリシガ「ダバオ」ニ轉進ヲ命ジ二 三日中ニ到着ノ豫定ナリ

四 「サランガニ」方面異狀ナシ
 五 來襲敵機ハBBDヲ主トシ連日陣地ノ要點後方施設等ニ銃爆撃ヲ集
 中シアリ

六 昨十七日迄ニ判明セル戦果ノ主ナルモノ左ノ如シ特ニ海上ニ於ケル
 海軍特攻隊ノ偉勳ニ對シ感激ニ堪ヘズ人員殺傷三二〇五飛行機撃墜

10 輛 擊破 4 輛 戰車 擱坐 1 擊破 6 裝甲車
擱坐 1 擊破 5 破壞 自動 車

084T

一〇 機關 破 四 輛 戰 車 擱 坐 一 擊 破 六 裝 甲 車 擱 坐 一 擊 破 五 破 壞 自 動 貨 車
（牽 引 車 3 輛 ム）八 四 其 他 火 砲 七 無 線 機 三 電 波 探 信 儀 一 輛 獲 迫
砲 一 門 各 種 機 銃 三 九 挺 無 線 機 三 沈 驅 逐 艦 一 隻 中 型 輸 送 船 三 隻
七 我 方 損 害 戰 死 三 一 三 威 傷 三 七 三 未 歸 還 一 七 五
八 目 下 通 信 不 通 二 付 尙 武 情 傳 ヘ ラ レ 度

5月19日
受信
了

1821
19.30
20.35
23.52

電 09664
作概
参本

作

五一九
受信
始二〇九三五〇

譯了二三五二
電〇九六六四

参作
本概

昭和廿年五月廿四日

東京通信隊
三一通信隊

三二通信隊

機密第一九〇九(一)番電

發 據兵團長

宛 陸軍参謀次長

通報 尙武参謀長

十八日「ダバオ」戦況

一約一箇中隊内外ノ敵我最右翼ニ近接ス之ヲ擊退セル外敵ノ行動

一敵ニ活潑ナラズ一部ノ砲兵ヲ「夕日」北方高地ニ控進爾後

ノ攻勢ニ對シテ準備中ナルモノノ如シ

通一〇八二六 呂一ドラ一八(一五七一)C(K) 三二通信隊(福川)

二、本朝艦逐漁一隻上陸用舟艇八隻「タロモ」灣ニ侵入シ揚陸ノ後
 出港又一七〇〇「サランガニ」海峡ヲ通過スル上陸用舟艇三六隻
 隻アリ「コタバト」方面ヨリノ増援ト判断ス
 三、來襲敵機ハS B Dニシテ主トシテ富方面後方地區ヲ破壊シ第
 一線陣地ニ對スル攻撃少ナカリシハ特異ナリ。

日

5月 19.20日
884T 受訊 信始了

電 09746
作 概本
参

21.15
00.20
03.30

五
二〇九
受信
始〇二一〇五

譯了〇三三〇
電〇九七四六

作
本概



◎ 著 魚 雷 一 〇 三
◎ 大海參一部・聯合艦隊F

機密第一九一〇四三番電

發 南西方面艦隊長官

陸軍少尉山田敏光ノ指揮老巧ナル作戰特ニ砲隊ガ近接ヨリ砲爆墜下

勇戰取闘大ナル戰果ヲ擧ツツアルハ大ニ可ナリ。

東証 本電誤字多ク遅延

通一〇八七〇

呂一Bラ十八(五〇八五K)

高雄航空基地
富永(林部)

昭和廿五年五月廿五日

昭和廿年五月廿日

五 一一八 受信 〇〇〇三七 譯了 〇二一五 電 〇九二五九 作概

至 急

三 三 一 通

三 三 警 備 隊

大 臣

大臣。人事局。聯合艦隊。一航空艦隊。總長。非島部隊戰鬪概報着信艦所

機密第一九一六〇八番電

感 狀

第二七魚 調整班上等兵曹坂梨榮三 一等兵曹山内明代右ハ隊テヨ

リ深サ五〇米ノ洞窟内ニ格納セル各種魚雷頭部一二〇個被雷九大型

27 03 15 爆彈二四其ノ他ヲ敵來攻ノ時機(爆破敵ヲ擊碎スルノ特別任務ヲ率

20 00 02 先志願シ之ヲ容レラレシガ該爆破作業タルヤ種々ノ研究ヲ重ネタル

結 果作業員ヲ洞窟内ニ入レ爆破スルノ外ナキ必死ノ作業ナリ昭和

19 00 00 信始了二十年三月十三日午後敵戰軍數輛及步兵二ケ小隊ガ我主陣地ニ來攻

19 00 00 激戰約三時間ニ亘リタル際一四二〇火艇天ニ沖スルノ大爆破ヲ決行

玉碎以テ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘタリ右ノ行爲ハ忠勇義烈ノ發露ニシテ

通一〇三四八 昌一〇一〇一十八(五〇八五〇) 高望 地 伊藤 (洞窟)

電 〇九二五九 概 急 至

5月 1782T

34

1785

88

海ニ軍人ノ龜鑑ト爲スニ足ル仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス。

和和二十年五月十七日

南西方面監隊司令長官

大川内傳七

5月20日 受信了
984T 受訊訊

11.50 電 09941
12.40 作 09942
15.20 本

作

緊急

五二〇 受信 一一五〇〇
譯始 一二四〇〇
譯了 一五二〇
電 〇九九四
〇九九四
參作本

三二根 戰闘概報着信艦所
二二根 〽・二三根 〽・二六根 〽

機密第二〇〇一三七番電 二分ノ下二

三二警備部隊 戰闘概報第二八號 (五月十九日)

一、ダバオ方面

(1) 十八日 一四三〇裝甲車二臺ヲ有スル敵六〇第一飛行場南端附近
ニ侵入夕刻一部ヲダバオ市方面ヘ擊退セルモ「タムラツト」方
面二十九日一〇〇〇ヨリ再ビ戰車三裝甲自動車銃 火砲十數門
車輛二十數輛ヲ含ム約一個大隊ノ敵進出更ニ戰車數輛 車輛十
數輛ヲ有スル敵ハ約一〇〇名「バナカン」大發挺身隊基地附近
ニ侵透シ來リ激戰中同基地隊ハ大發魚雷及施設處分完了交戰中
通一一〇一四・一一一〇四 呂一〇ラ十八(一五七一〇K)三三三通
宿岡・久保田(飯田)

二、海上方面
 (ロ) 二、三大隊正面及陸軍陣地戦線著變ナシ

(イ) 十八日夕刻サランガニ海峡ヲ東進セル敵上陸用舟艇三二、内火艇四・ハ十九日〇八〇〇夕口モ灣ニ侵入ヒリ一コタバト一方向ヨリ兵力約五〇〇名戦車等輸送セルモノト判断ス
 (ロ) 〇七三五 驅逐艦二 掃海艇六 カンオーガスチン見張所砲撃ス。

人

五二〇〇 受信〇〇二二五〇 了〇二二五〇 電一〇一五五

航作
本本〇

昭和廿年五月廿五日

作

機密第二〇二〇三五番電

東京通信隊
第三一通信隊

發 據兵團長

宛 陸軍參謀次長

通報 尙武參謀長

通電先 次長 尙武

十九日「ダバオ」戰況

一 敵約一大隊ハ本朝來我陸地ノ右翼ニ對シ攻撃中又「ササ」附近ニ於
テモ海軍部隊ハ敵約一中隊ト交戰中ニシテ戰車三臺牽引車一五自働
貨車九敵該方面ニ増援セリ
二 本日灣内ニ侵入セル艦艇艦艇二掃海艇一LOT四發四兵員資材

三 來襲敵機SBDヲ主トシアリ

四 兵團ハ依然主陸地帯ヲ確保士氣旺盛又「デゴス」ヨリ轉進セル一大隊モ「ダバオ」

一 原地面ニ到着セリ
一三八六 呂一八七八五五KG 三一三通 未光 (半)

5月20日 受信始了
22.57
00.40
02.50

電 10155
概本
航本
作航
航本

884T

138

5月 21日
684T

受信
受訊

信始了

03.53
05.39
06.16

電作參
110260
110261
概本

五二一
緊急
受信始
〇〇三五九三

了〇六一五
電
〇〇二六〇

參作
本概
昭和廿五年五月廿三日



三二特根戰團概報着信鑑所
二二、二三、二六各特根

機密第 二〇二二二八番電 三分ノ二

三二警備部隊戰團概報第二九號（五月二十日 其二）

六夕バ才方面

(1) 昨日第一飛行場南端ニ侵入セル敵ハ本日一四三〇熾烈ナル爆撃ヲ

共ニ戰車九裝甲車五砲一五トラツク（兵員滿載）ヲ以テ「ササ」

地區一大隊陣地正面ニ對シ侵入交戰中バ才ヲ河以北敵未ダ侵入

シアラズ當方面ニテ收メタル現在迄ノ戰果人員殺傷西原幕舎一爆

碎小銃彈五〇鹵獲

通
一四八九
呂一Bラ十八（七八七五）三三通
櫻井（久保田）

139

- (ロ) 一七三〇敵約一箇中隊「イラン」(テフタリ附近)ニ上陸我ガ水
際部隊ハ之ト激戦中
- (ハ) 必勝喜前面ノ敵ハ昨日來攻撃再開本日〇七〇〇敵ハ我ガ障地兩翼
ニ侵透シ來リ激戦中
- (ニ) 昨日トクボク方面ニ侵入セル敵ハ戰車二歩兵約二〇〇〇ニシテ「タ
ロモ」河谷戰線ハ敵ハ徐々ニ壓力ヲ加ヘツツアリ
- (ホ) 二大隊正面著變ナシ
- 三 海上方面通過タロモ方面ヲ出港セシ敵 一三ハ目下サマル島北端ニ
テ兵力揚收一三〇頃歸投。

(電信課註 本電三分ノ三未着)

164T

5月 21日

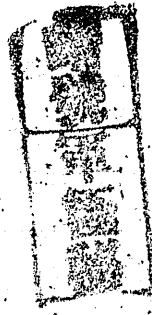
受信
開始

信
了

08.55
09.45
11.00

電 10319

作
本



緊
急

五
二
一

開始 〇〇八五五
〇九四五

了 一一〇〇
電 一〇三一九

参作
本概

昭和廿五年五月廿二日

三二時根 戰團 概 報 着 信 艦 所
二二、二三、二六 各 時 根

機密 第二〇二二二二八番電 三分ノ三

(ロ) ダバオ灣内 沈没、敵 驅逐艦 五隻 掃海艇 一隻 LCG 二隻 魚雷艇 二隻

三ポイントリナオ魚雷艇基地ハ十三日敵機爆撃ニ依リ魚雷艇五隻 掃海艇五隻 掃海艇五隻

集全部沈没施設全壊ス「マナタ」見張所除ハ十八日同基地南方ニ到

達同行陸軍部隊ヲ共ニ輸送ノ為派遣セル大發四隻ハ十八日同基地ニ到

敵機ニ依リ被爆沈没セル為前進部隊並基軸員ハ合同陸路ダバオ轉進ノ

豫定。

電信課註 本電三分ノ二既配布

通 一 一 千 五 百 四 十 八 (一 五 七 一 〇 五) 三 三 通 品 田 (松 山)

人

五二二 受信二〇二二 譯了二二一〇 電一〇四九一 作 概

三十一通

三十三根



大本營海軍參謀部第一部・聯合艦隊

機密第二一一一四一番電

發 南西方面艦隊司令長官

兵曹長 河野勝敏以下一四名及上曾邊武曼以下四名ガ斬込隊トナリテ

敵橋頭堡ニ潜入大ナル戦果ヲ得タルハ可ナリ。

通一一八〇七 呂一Bヲ十八(五〇八五記) 高嶺 鈴木(雨谷)

昭和四年五月廿五日

43

5月 21日
受訊
664T

信了
16.58
17.25
20.10

電 110566
作 110567
概 本
参



東 通
三 一 通

機密第二一一一三三七番電

二分ノ二

五 二 一
受信 一六五八
始 一七二五

講了 二〇一〇
電 一〇〇五六六
七
参作 本概 ○

昭和十五年五月廿五日

宛 陸軍参謀次長
通報 尙武参謀長

二十日「タバオ」戦況

一 敵、昨日來攻撃ヲ續行中ニシテ其主攻正面タル我方右翼主陣地ハ依然確保シアルモ「アテナ」飛行場北方高地及埤地ニハ夜半約二〇〇ノ敵侵入我方海軍部隊ハ之ト激戦中

二 右岸地區方面約一ヶ大隊ノ敵ハ「パテガン」附近ノ我がサオ基地ニ
通 一 一 七 七 〇 〇 二
一 一 B 三 十 八 一 一 九 七 一 〇 〇 〇 三 二 通 高橋 (新共) (一)

144

侵入レリ「ササ」附近ニテ一部ノ敵ト交戦中

三、東海岸ヨリ轉進中 約二中隊ハ爾ク「ダバオ」灣東岸ニ到着トシモ

敵ノ妨害ノ爲海上輸送ヲ斷念シ所在ノ敵ヲ撃破シツツ「ラサン」附近

ニ前進ヲ命ゼリ

四、來襲敵機S B D I 一ヲ撃退

五、「サイゴン」トノ電信確保トリ爾今「サイゴン」宛ニ報告シ參謀次

長宛報告ハ取止ム。

145

II

5月 964T

21日 受信了
21日 受訳訳

21.25
22.00
23.20

電 作訓

10568
10569

作

緊 急

五 二一 受信二二二五 了二三二〇 一〇五六八

作 訓

三二根戦國機報着信所。三南遣機隊
大海一部。聯合機隊。三二、三三、二六各根下

機隊第二一一四三九番電 二分ノ一、二

三二KB 戦國機報第三〇號 (二十一日其ノ一)

戦訓所見

三ダバオ一甲標的二隻ハ被爆並ニ未歸還ノ爲損失スルニ至リタルモ

敵艦艇ノ對潛警戒嚴重ナルハ甲標的無言ノ威力ナリト認ム

三ダバオ一魚雷艇及第一二二五魚雷艇隊ハ遂ニ

敵機ノ爲爆沈セラレ無價値ニ終リタル主因ハ概ネ左ニ依ルモト

認ム

一七一一四 呂一Bラ十八 (一五七〇KC) 三十二通
一八一二一 (七八七五KC) 米光 谷川 (川崎)

- (イ) 無線通信ニ關シテハ總ニル手ヲ打チ整備シタルニモ拘ラズ襲撃直前ヨリ連絡不能トナリ好機ニ投ズルニ回ノ出撃命令到着セズ襲撃ノ時機ヲ失シタルコト
- (ロ) 通信連絡不能後ニ於テ指揮官直接連絡ヲ取ルカ或ハ自ラ襲撃ノ機會ヲ捉エントスル獨斷專行積極性ニ乏シカリシコト
- (ハ) 魚雷艇ノ性能特ニ機關不良ニシテ艇ノ操縦(後進不能)極メテ困難ナリ艇長ハ自信アル取扱出來ザリシコト
- (ニ) 基地秘匿セントスル各艇ノ耐弾格納困難ナリシコト。

昭和廿五年五月廿七日

五 二二 受信 一四三三〇〇 譯了 一六〇〇 電 一〇八三三九

作 概

至 急 三 二 通

作

東 三 十 一 通

機密第二二〇九二四番電

電 110 829 110 833 作 概

發 三二警備部隊指揮官

宛 南西方面艦隊司令長官旗艦

13.30 通報聯合艦隊司令長官 大海參一部長

22 受信 五月二十一日海軍大尉松井武義(舊ヨコ一七二)ノ指揮スル

22 受取 一タバオ一海部隊第二攻撃隊ヲ懲影セリ

理由 五月十一日岡田兵曹長ノ率キル特別攻撃隊(雷裝大發一内火

艦二)ヲ以テ折柄「夕口」ニ侵入セル敵艦船群ニ突入中型輸送艦

一〇九八 呂一〇ヲ十八 (一五七〇) 三十二通 高橋(石井) (1)

148

二隻ヲ撃沈更ニ十五日岡村少尉ノ率キル特別攻撃隊（雷装大發三）
 ヲシテ同泊地ニ強襲セシメ一返艦一隻轟沈輸送船一隻撃沈而モ特攻
 隊員ノ大部收容成功
 右ハ指揮官以下隊員ノ打到ナル訓練ト強固ナル團結ノ下海軍ノ傳統
 ト名譽ヲ遺憾ナク發揚全軍ノ士氣ヲ昂揚セル所極メテ大ニシテ武
 勳特ニ顯著ナリ。

（東通註 聯合艦隊旗艦通報）

電 10829
作 概

5月 22日

008T

受 訳 訳

信 始 了

12.32
14.20
16.00

五 二二

受 信 一 四 二 三 〇

了 一 六 〇 〇 電 一 〇 八 二 九 作 概

至 急

作

東 三 十 一 通

三 十 二 通

機 密 第 二 二 〇 九 二 八 番 電

發 三二警備部隊指揮官

宛 南西方面艦隊長官

通報 大海參一部長 聯合艦隊長官

五月二十一日機關兵長山崎藤助 (吳志 四五三六八) (二大三中一小)

ヲ 影 影 セ リ

理由 五月二日大敵正面ニ敵ヲ迎撃スルヤ小隊長傳令トシテ熾烈ナル

砲撃下任務ヲ完遂三日ノ激戦ニテ小隊長以下大部戦死後ニ小隊

彈筒手トナリ六日迄實ニ二〇〇發以上ノ有效彈ニ依リ敵攻撃ヲ破碎

一 二 〇 七 九 四 一 〇 〇 十 八 (一五七一〇) 三二通 林 (石寺) (1)

シ豫定ノ七日全彈發射後ハ機銃射手トナリ正面及側面ヨリ攻撃敵ヲ
 激撃身ニ數彈ヲ受クルモ尙果敢ナ攻撃ヲ止メズ遂ニ敵煙彈ノ中ニ壯
 烈ナル戰死ヲ遂ゲ右ハ全ク海軍傳統攻撃精神ノ權化ニシテ軍人ノ龜
 鑑タリ

《東通註 聯合艦隊旗艦（通報済）》

昭和廿五年五月廿七日

作概本

五二二

受信始 〇〇九八〇八

了 一〇二〇 電 一一四二

作時緊急

三 一 通信隊



大阪通信隊

密第二二二一〇三三番電

發 南西方面艦隊長官

宛 海軍兵團長

通 三二特根司令官

電 11142
作概本

08.25
09.08
10.20

在「夕バオ」陸海軍部隊方閣下ノ卓越セル統率ノ下鐵石ノ團結ヲ以テ
最 中 國 艦 隊 ナル 狀 況 ヲ 克 服 幸 甚 戰 多 大 ノ 戰 果 ヲ 收 メ ラ レ ツ ツ ア ル ハ 感
激 ニ 不 堪 誠 實 眞 二 重 大 ノ 秋 閣 下 並 ニ 各 位 ノ 奮 闘 下 御 武 運 ヲ 祈 念 シ テ
不 煩。

3日 信始了
2日 受取誤

一 二 五 二 一 呂 一 日 三 十 八 (一) 二 六 五 五 (一) A F F 相 澤 (川 口)

5月 208T

昭和廿年五月廿七號

万 二二
魚 開始二〇九三〇 開丁二二四五 電自一一〇一六三 參作 本概



三二時根戰闘概報着信艦所・三南遺棄隊口
大海參一部・聯合艦隊口。二二、二三、二六各根

機密第二二二二二〇二番電 四分ノ二二三四

三二警備部隊戰闘概報第三一號（五月二十一日）其ノ二

電 自 11013
至 11016

標本。タバオ方面
(1) 敵ハ「ラサン」街道ニ沿ヒ攻撃開始セリ新井頭ハ「テブニコ」侵透スル

19.30
20.20
22.45
ト共ニ一部西方山地銃撃傳入二十日約一個中隊ヲ「バナカン」ニ揚陸ス
ルト共ニ二十一日一五一五驅逐艦及輸送船ヲ以テ「ブナワン」橋樑附近

信始了
上陸ヲ開始敵ノ主攻嚮日標ハラサン中央ニアルモノ如ク海岸街道ヲ戰
受取取 直裝甲車重輜ヲ以テ機動我ヲ包圍繼續攻撃準備中ト判斷我方嚴重監視

308T
通 一一三三三九 一一三三四五
一一三三六九 一一三三六七
日一八ヲ十八（一五七一〇）三三通 明比（松山）(1)

1804 (ハ) タロモ河谷ニ沿フ敵攻撃又活発ニシテ所ナクシ
 方面「ミンタル」方面ニ於テ一部ノ敵隊が陣地ヲ突破シ
 活発ニ開始シテ陣地ハ兵團主力ヲ以テ「タル」下クホ細場
 一帯ニ配備及ト交戦中

ニ海上方面

(ロ) タロモ河谷ニ沿フ敵攻撃又活発ニシテ「カタルナン」方面「ミンタル」
 方面ニ於テ一部ノ敵隊が陣地ヲ突破シ開始シテ陣地ハ兵團主力ヲ以テ「タル」
 下クホ細場一帯ニ配備及ト交戦中

ニ多クノ出血ヲサセアリシガ二十日主陣地ハ中支點ヲ除ク左右支點ハ
 有力ナル部隊ト交戦シアリシガ隣側陣地主陣地配備ノ發退ニ伴フ孤立
 ニ陥リツツアリシヲ以テ二十日ウニネ々撤收必聯合左側陣地ニ配備セ
 リ

十九日ニ至ルニ二週間ニ必聯合陣地ニ對スル敵ノ打込ミタル砲撃三四〇
 六發迫撃砲砲六六〇〇發以上投下俾理二一五個ニ達ス爲ニ山形改マリ
 テ昔日ノ兩影ナク半歳ニ亘リテ構築セシ陣地モ今ヤ大部分壞滅セリ

敵ニ直撃シ攻撃シ來レルモ其ノ都度果敢ナル斬込ミ並ニ逆襲ニ依リ敵
 軍ニ大ノ出血ヲサセアリシガ二十日主陣地ハ中支點ヲ除ク左右支點ハ
 有力ナル部隊ト交戦シアリシガ隣側陣地主陣地配備ノ發退ニ伴フ孤立
 ニ陥リツツアリシヲ以テ二十日ウニネ々撤收必聯合左側陣地ニ配備セ
 リ

「カタルナン」方面「ミンタル」方面ニ於テ一部ノ敵隊が陣地ヲ突破シ開始シテ陣地ハ兵團主力ヲ以テ「タル」下クホ細場一帯ニ配備及ト交戦中

(2)

2. 海上方面

(1) 加工入港 噸 艦 3 大型輸送船 1 中型輸送船 1 小型輸送船 6 LCT 曳船機 (橋ヲミキモノヲ電航) 2

508T

- (イ) タロエ入港 噸 艦 3 大型輸送船 1 中型輸送船 1 小型輸送船 6 昭和廿年6月27日
- 三曳船 (橋ヲシキモノヲ電航) 2
- (ロ) 一 噸 艦 1 輸送船 1 テブニコ岸
- (ハ) 一 噸 艦 1 輸送船 6 「ササ」 「ラサシ」 海面上行動艦
- (ニ) 一七三〇 噸 艦 2 輸送船 一三 那沙美灣内停入北上。

(3)

5月22日 23日
908T 受訊了
19.16 00.00
01.15

電 11034
作 概 0
11035

作

五
二二
三二

受訊
始 〇〇九一六

二三 譯了 〇一一五

電 一一〇三四
一一〇三五

作 概 〇

海 參 一 部 通

機密第二二二二〇六番電

二分ノ一二

發 集團參謀長

宛 尙武集團參謀長

通電先 威尙武(第三十二特別根據地隊、第三兩遣艦隊經由)

尙集團司令部狀況

一司令部主力ハ「セブ」島 進後更ニ遠ニ中樞タル「ミンダナオ」島ニ

推進スベク軍司令官、參謀長、參謀及參謀附右ノ大部ヲ以テ「パンカ

」配屬ニ依リ「メデリン」ヲ出發ハリ

三軍司令官(豐崎參謀、山崎參謀隨行)ハ四月十六日(「ズマゲテ」北

通 一一二二六三八 呂一Bラ一八(一五七一〇) 三二通

長谷川(端田) 戸田

(1)

方附 近一以降行動不明ニシテ今ニ至ルモ消息ナシ

三 參謀長（高橋參謀隨行）ハ四月二十一日「カガヤン」ニ到着現在

「バシヤオ」ハ「バギル」ハ「ツリ道中間」ニ戰鬪司令所ヲ推進シ

アリ雅邊（トシ）參謀モ共ニアリ

四 他ノ「バンカ」ハ未ダ消息不明ナリ

五 大會根參謀ハ「サンテルニロス」對岸「レフギオ」島ニ於テ四月十

四日敵匪ト交戰戰死中村參謀ハ「レイテ」島ニテ作戰指導ニ任ジ

アリ渡邊「シゲル」參謀ハ「ネブス」島ニアリト判斷ス

六 照及約（照ヲ通ジテ）トハ連絡確保シアルモ他兵團ノ狀況不明ナ

リ。

5月22日
808T

受信
通一二一四二

呂二Bケ一(B)GFP
仲榮真(金森)

信始了

15.43
16.00
16.31

敵「オロンガボ」方面に集結新活動ノ兆アリ
五FGB指揮官ハ成ル
ベク速ニ彩雲ヲ以テ「オロンガボ」(状況許セバ「マニラ」及「リン
カエン」ヲ含む)方面ノ敵情ヲ偵察スベシ。

電概本
航作
10824

G B 電令作第五五號

機密第二二一三五九番電

作

一航空艦隊P

海軍總隊P

大本營海軍部・五航空艦隊P・高警P

作戰緊急

五 二二

受信
始一五四三〇〇

譯了一六三一
電一〇八二四

航作概本〇

5月 1236

受信
608T

04.25
05.31
06.45

電訓
11124
11125



緊
急

五 二三
受信〇四二五
開始〇五三一
了〇六四五
電一一二二五
作
本
訓

一 南 邊 艦 隊 口

大海參部
聯合艦隊口・南西方面口・高宮口・台北在勤武官・二三根

機密第二二一五〇七番電 二分ノ六二

三二警備部隊報第三一號(二十一)其ノ一戰訓所見

五月八日戰訓開始以來海軍將兵ノ敢闘精神極メテ旺盛ニシテ陣地

死守ノ信念ニ徹シ當地方戰列ニ見ルガ如キ許可ヲクシテ陣地ヲ撤

スルモノ皆無特ニ學徒出身ノ預備士官ハ固木第一線中隊長及小隊

長ノ配置ニアリテ勇戦奮闘帝國海軍ノ傳統ト名譽ヲ遺憾ナク發揮

勇敢ナル行爲ハ枚擧ニ遑アラズ

通
一一三
二四三
四三

呂一八(七八五五四)三二

東
清水(小)

昭和廿年五月廿七

三 戰團中台灣軍人軍團ノ行動ニ關シテ從來兇角ノ風評アリシモ「ダバ
 オ」ニ關スル限り戰團中ト雖モ統制アル指擲ノ下ニ熾烈ナル砲爆彈
 或ハ陣地作業或ハ後方連絡ニ從事シアリテ克ク台灣青年ノ名譽ヲ發
 揮シアリ

台灣志願兵大部分成績優良

三道路橋梁ノ破壊ハ事前ニ充分研究スルト共ニ戰團ノ經過ヲ視ミ餘裕
 ヲ以テ實施セザレバ徹底ヲ期スルコト困難ナリ實施ニ當リテハ豫メ
 破壊隊（設營隊ヲ以テ編制）ヲ以テスルヲ可トス今次敵「コタバト」
 上陸以來一旬ヲ經シテ「ダバオ」ニ突入セシメタル主ナル原因ハ陸
 軍部隊ノ道路橋梁ノ破壊不充分ナリシニ依ルモノト認ム。